







<<Interface>> IStatus

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを表す。
message	エラー発生時のエラーメッセージを表す。

メソッド	説明
initStatus	code と message を初期化する。
errorTerminate	エラー発生時に message を出力する。

■プロパティ

code
Public Property Let code(IngCode AS Long) Public Property Get code() AS Long
引数: IngCode メソッド実行直後の終了コードを指定する。
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。
0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

message
Public Property Let message(strMessage AS String) Public Property Get message() AS String
引数: strMessage: エラー発生時に出力するメッセージを指定する。
戻り値: エラー発生時に出力するメッセージを返す。

■メソッド

initStatus
Public Sub initStatus()
code を 0、message を空文字に初期化する。

errorTerminate
Public Sub errorTerminate()
エラー発生時にダイアログとコンソールへメッセージを出力する。

Status

■実装されたインターフェイス

IStatus

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを表す。
message	エラー発生時のエラーメッセージを表す。

メソッド	説明
initStatus	code と message を初期化する。
errorTerminate	エラー発生時に message を出力する。

■プロパティ

code
Public Property Let code(IngCode AS Long)
Public Property Get code() AS Long
引数: IngCode メソッド実行直後の終了コードを指定する。
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。
0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。
1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。
2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

message
Public Property Let message(strMessage AS String)
Public Property Get message() AS String
引数: strMessage: エラー発生時に出力するメッセージを指定する。
戻り値: エラー発生時に出力するメッセージを返す。

■メソッド

initStatus
Public Sub initStatus()
code を 0、message を空文字に初期化する。

errorTerminate
Public Sub errorTerminate()
エラー発生時にダイアログとコンソールへメッセージを出力する。

<<Interface>> IController

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue
Public Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)
初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。 引数: strName - パラメータ名を指定する。 varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject
Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)
初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。 引数: strName - パラメータ名を指定する。 obj - 格納するオブジェクトを指定する。

<<Interface>> IReturnObject

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	任意のオブジェクトを生成して返す。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Public Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject

Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

run

Public Function run() AS Object

処理を実行する。

戻り値:

任意のオブジェクトを返す。

<<Interface>> IReturnVariant

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	任意の値を生成して返す。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Public Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject

Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

run

Public Function run() AS Variant

処理を実行する。

戻り値:

任意の値を返す。

GetDialog

■実装されたインターフェイス

IReturnObject

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	処理を実行する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Public Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

有効なキーと値:

setParamValue("dialogType", "file") - ファイルピッカーダイアログを生成する。

setParamValue("dialogType", "directory") - フォルダーピッカーダイアログを生成する。

setParamObject

Private Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

本クラスでは使用しない。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

run

Public Function run() AS Object

処理を実行する。

戻り値:

FileDialog オブジェクトを生成して返す。

■実装されたインターフェイス

IReturnVariant

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	処理を実行する。
clearFilters	拡張子フィルターに登録されているフィルター定義を削除する。
addFilters	拡張子フィルターへフィルター定義を登録する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Private Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

本クラスでは使用しない。

setParamObject

Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

有効なキーと値:

setParamObject("dialog", FileDialog) - 操作対象とする FileDialog のインスタンスを登録する。

clearFilters
Public Sub clearFilters()
拡張子フィルターに登録されているフィルター定義を削除する。
引数: なし

addFilters
Public Sub addFilters(strName AS String, strDefinition AS String)
拡張子フィルターへフィルター定義を登録する。
引数: strName - フィルター定義の名前を指定する。 (例: Excel) strDefinition - フィルター捕捉対象とする拡張子のリストを ; 区切りで指定する。 (例: *.xls;*.xlsx;*.xlsm)

run
Public Function run() AS Variant
FileDialog を開き、選択したファイルまたはディレクトリのパスを取得して返す。
戻り値: FileDialog 上で選択したファイルまたはディレクトリのパス。

DialogController

■実装されたインターフェイス

IController

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
getCsvPath	FileDialog を開き、選択した CSV のパスを返す。
getExcelPath	FileDialog を開き、選択した Excel ファイルのパスを返す。
getDirectoryPath	FileDialog を開き、選択したディレクトリのパスを返す。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Private Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

本クラスでは使用しない。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject

Private Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

本クラスでは使用しない。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

getCsvPath

Public Function getCsvPath() AS String

FileDialog を開き、選択した CSV のパスを取得して返す。

引数:

なし

戻り値:

FileDialog 上で選択した CSV のパスを返す。

getExcelPath

Public Function getExcelPath() AS String

FileDialog を開き、選択した Excel ファイルのパスを取得して返す。

引数:

なし

戻り値:

FileDialog 上で選択した Excel ファイルのパスを返す。

getDirectoryPath

Public Function getDirectoryPath() AS String

FileDialog を開き、選択したディレクトリのパスを取得して返す。

引数:

なし

戻り値:

FileDialog 上で選択したディレクトリのパスを返す。

GetConnection

■実装されたインターフェイス

IReturnObject

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	処理を実行する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Private Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
本クラスでは使用しない。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject

Private Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
本クラスでは使用しない。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

run

Public Function run() AS Object

処理を実行する。

戻り値:

DAO.DataBase オブジェクトを生成して返す。

GetQueryDef

■実装されたインターフェイス

IReturnObject

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	処理を実行する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Public Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

有効なキーと値:

setParamValue("sql", 操作対象とするクエリオブジェクトの名前または SQL を直接記述する。)

setParamObject

Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

有効なキーと値:

setParamValue("connection", DAO.DataBase) -
操作対象とする DataBase のインスタンスを登録する。

run

Public Function run() AS Object

処理を実行する。

戻り値:

DAO.QueryDef オブジェクトを生成して返す。

GetRecordset

■実装されたインターフェイス

IReturnObject

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	処理を実行する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Public Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

有効なキーと値:

setParamValue("sql", 操作対象とするクエリオブジェクトの名前または SQL を直接記述する。)

setParamObject

Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

有効なキーと値:

setParamValue("connection", DAO.DataBase) -

run

Public Function run() AS Object

処理を実行する。

戻り値:

DAO.Recordset オブジェクトを生成して返す。

DaoController

■実装されたインターフェイス

IController

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
getQueryDef	DAO.QueryDef オブジェクトを生成して返す。
getRecordset	DAO.Recordset オブジェクトを生成して返す。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

```
Private Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)
```

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

本クラスでは使用しない。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject

```
Private Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)
```

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

本クラスでは使用しない。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

getQueryDef

Public Function getQueryDef(strQuery AS String) AS DAO.QueryDef

QueryDef オブジェクトを生成して返す。

引数:

strQuery - 操作対象とするクエリオブジェクトの名前または SQL を直接記述する。

戻り値:

QueryDef オブジェクトを返す。

getRecordset

Public Function getRecordset(strEntity AS String) AS DAO.Recordset

Recordset オブジェクトを生成して返す。

引数:

strEntity - 操作対象とするテーブル / クエリオブジェクトの名前または SQL を直接記述する。

戻り値:

Recordset オブジェクトを返す。

GetFiles

■実装されたインターフェイス

IReturnObject

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	処理を実行する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Private Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
本クラスでは使用しない。

引数:

- strName - パラメータ名を指定する。
- varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject

Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

引数:

- strName - パラメータ名を指定する。
- obj - 格納するオブジェクトを指定する。

有効なキーと値:

- setParamValue("directory", Folder) -
操作対象とする Folder のインスタンスを登録する。

run

Public Function run() AS Object

処理を実行する。

戻り値:

- Files オブジェクトを生成して返す。

GetTextStream

■実装されたインターフェイス

IReturnObject

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	処理を実行する。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

■メソッド

setParamValue

Public Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)

初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

varValue - 格納する値を指定する。

有効なキーと値:

setParamValue("streamType", "read") - 読取専用で TextStream を開く。

setParamValue("streamType", "write") - 上書きモードで TextStream を開く。

setParamValue("streamType", "append") - 追記モードで TextStream を開く。

setParamObject

Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)

初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。

引数:

strName - パラメータ名を指定する。

obj - 格納するオブジェクトを指定する。

有効なキーと値:

setParamObject("file", File) - 操作対象とする File のインスタンスを登録する。

run

Public Function run() AS Object

処理を実行する。

戻り値:

TextStream オブジェクトを生成して返す。

<<Interface>> IRecord

■概略

プロパティ	説明
zipCode	郵便番号を設定または取得する。
prefecturePhonetic	都道府県名_カナを設定または取得する。
cityPhonetic	市区町村名_カナを設定または取得する。
areaPhonetic	町域名_カナを設定または取得する。
prefecture	都道府県名を設定または取得する。
city	市区町村名を設定または取得する。
area	町域名を設定または取得する。
updateFlag	更新の表示を設定または取得する。
reasonFlag	変更理由を設定または取得する。

■プロパティ

zipCode
Public Property Let zipCode(strValue AS String) Public Property Get zipCode() AS String
引数: strValue - 郵便番号として設定する値を指定する。 戻り値: 郵便番号を返す。

prefecturePhonetic
Public Property Let prefecturePhonetic(strValue AS String) Public Property Get prefecturePhonetic() AS String
引数: strValue - 都道府県名_カナとして設定する値を指定する。 戻り値: 都道府県名_カナを返す。

cityPhonetic
Public Property Let cityPhonetic(strValue AS String) Public Property Get cityPhonetic() AS String
引数: strValue - 市区町村名_カナとして設定する値を指定する。 戻り値: 市区町村名_カナを返す。

areaPhonetic
Public Property Let areaPhonetic(strValue AS String) Public Property Get areaPhonetic() AS String
引数: strValue - 町域名_カナとして設定する値を指定する。 戻り値: 町域名_カナを返す。

prefecture
Public Property Let prefecture(strValue AS String)
Public Property Get prefecture() AS String
引数: strValue - 都道府県名として設定する値を指定する。
戻り値: 都道府県名を返す。

city
Public Property Let city(strValue AS String)
Public Property Get city() AS String
引数: strValue - 市区町村名として設定する値を指定する。
戻り値: 市区町村名を返す。

area
Public Property Let area(strValue AS String)
Public Property Get area() AS String
引数: strValue - 町域名として設定する値を指定する。
戻り値: 町域名を返す。

updateFlag
Public Property Let updateFlag(IngValue AS Long)
Public Property Get updateFlag() AS Long
引数: IngValue - 更新の表示として設定する値を指定する。
戻り値: 更新の表示を返す。

reasonFlag
Public Property Let reasonFlag(IngValue AS Long)
Public Property Get reasonFlag() AS Long
引数: IngValue - 変更理由として設定する値を指定する。 戻り値: 変更理由を返す。

<<Interface>> Iterator

■概略

メソッド	説明
hasNext	次の要素が存在するかを確認する。
nextArray	次の要素を返す。

■メソッド

hasNext
Public Function hasNext() AS Boolean
次の要素が存在するかを確認する。
引数: なし
戻り値: True - 次の要素が存在することを表す。 False - 次の要素が存在しないことを表す。

nextArray
Public Function nextArray() AS Variant
集合体から次の要素を返す。
引数: なし
戻り値: 次の要素を返す。

ImportCsv

■実装されたインターフェイス
IReturnObject, IRecord, Iterator

■概略

プロパティ	説明
code	メソッド実行直後の終了コードを返す。
zipCode	郵便番号を設定または取得する。
prefecturePhonetic	都道府県名_カナを設定または取得する。
cityPhonetic	市区町村名_カナを設定または取得する。
areaPhonetic	町域名_カナを設定または取得する。
prefecture	都道府県名を設定または取得する。
city	市区町村名を設定または取得する。
area	町域名を設定または取得する。
updateFlag	更新の表示を設定または取得する。
reasonFlag	変更理由を設定または取得する。

メソッド	説明
setParamValue	初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。
setParamObject	初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
run	CSV からデータを取得し、 Access のテーブルオブジェクトへ一括登録する。
hasNext	TextStream に次の行が存在するかを確認する。
nextArray	TextStream から一行を取得し、配列に変換して返す。

■プロパティ

code
Public Property Get code() AS Long
戻り値: メソッド実行直後の終了コードを返す。 0: エラーも成功もなく何もせずに終了した状態を表す。 1: エラーが発生し、異常終了した状態を表す。 2: メソッドの実行に成功した状態を表す。

zipCode
Private Property Let zipCode(strValue AS String) Private Property Get zipCode() AS String
引数: strValue - 郵便番号として設定する値を指定する。 戻り値: 郵便番号を返す。

prefecturePhonetic
Private Property Let prefecturePhonetic(strValue AS String) Private Property Get prefecturePhonetic() AS String
引数: strValue - 都道府県名_カナとして設定する値を指定する。 戻り値: 都道府県名_カナを返す。

cityPhonetic
Private Property Let cityPhonetic(strValue AS String) Private Property Get cityPhonetic() AS String
引数: strValue - 市区町村名_カナとして設定する値を指定する。 戻り値: 市区町村名_カナを返す。

areaPhonetic
Private Property Let areaPhonetic(strValue AS String)
Private Property Get areaPhonetic() AS String
引数: strValue - 町域名_カナとして設定する値を指定する。 戻り値: 町域名_カナを返す。

prefecture
Private Property Let prefecture(strValue AS String)
Private Property Get prefecture() AS String
引数: strValue - 都道府県名として設定する値を指定する。 戻り値: 都道府県名を返す。

city
Private Property Let city(strValue AS String)
Private Property Get city() AS String
引数: strValue - 市区町村名として設定する値を指定する。 戻り値: 市区町村名を返す。

area
Private Property Let area(strValue AS String)
Private Property Get area() AS String
引数: strValue - 町域名として設定する値を指定する。 戻り値: 町域名を返す。

updateFlag
Private Property Let updateFlag(IngValue AS Long)
Private Property Get updateFlag() AS Long
引数: IngValue - 更新の表示として設定する値を指定する。 戻り値: 更新の表示を返す。

reasonFlag
Private Property Let reasonFlag(IngValue AS Long)
Private Property Get reasonFlag() AS Long
引数: IngValue - 変更理由として設定する値を指定する。 戻り値: 変更理由を返す。

■メソッド

setParamValue
Private Sub setParamValue(strName AS String, varValue AS Variant)
初期化用パラメータとして使用する値を Dictionary へ格納する。 本クラスでは使用しない。
引数: strName - パラメータ名を指定する。 varValue - 格納する値を指定する。

setParamObject
Public Sub setParamObject(strName AS String, ByRef obj AS Object)
初期化用パラメータとして使用するオブジェクトを Dictionary へ格納する。
引数: strName - パラメータ名を指定する。 obj - 格納するオブジェクトを指定する。
有効なキーと値: setParamObject("recordset", DAO.Recordset) - 操作対象とする Recordset のインスタンスを登録する。 setParamObject("textStream", TextStream) - 操作対象とする TextStream のインスタンスを登録する。

run
Public Function run() AS Object
CSV からデータを取得し、Access のテーブルオブジェクトへ一括登録する。
引数: なし
戻り値: なし

hasNext
Private Function hasNext() AS Boolean
TextStream に次の行が存在するかを確認する。
引数: なし
戻り値: True: 次の行が存在することを表す。 False: 次の行が存在しないことを表す。

nextArray
Private Function nextArray() AS Variant
TextStream から一行を取得し、配列に変換して返す。
引数: なし
戻り値: 配列に変換された行データを返す。